

■橘守部 国学者。本居宣長一派に風靡されていた国学の大勢に反抗，独自の一派を確立に努め，北関東に影響大。

たちばなもりべ

・・・・・・・・1781＝ 生。伊勢国朝明郡小向村の庄屋飯田長十郎元親の長男。

天明大飢饉始1782＝ 1歳：母が実家に帰ったため，

乳母と伯母に育てられ，継母や父の妾にも孝養，

田沼意次失脚1786＝ 5歳：

寛政改革始・1787＝ 6歳：この頃，一村名主となり，

・・・・・・・・1788＝ 7歳：寺に手習いに通う頃から家に凶事が頻発，

異学の禁・・1790＝ 9歳：

ラスマン来日・ 1792＝11歳：家が破産，伯母の子の従兄に連れられ大坂・江戸などで過ごすうち，

松平定信引退1793＝12歳：

ワヅノ 正月・ 1794＝13歳：従兄も急死，伯母に続いて，

ポートン来航・ 1796＝15歳：父も死去。大坂の商家で働いたが，

昌平饗始・・1797＝16歳：父の妾と乳母を連れて江戸に下り，

蝦夷地直轄始1799＝18歳：

援助を受け，悪友に悩み，遊里で災難に会うなどしながら，_四書五経などを独修，

イザノ来航・ 1804＝23歳：八丁堀に転居，

_書道に励んで手習塾を開き，歴史に親しむなどした後，

フェートン号事件 1808＝27歳：_以後長く交流することになる清水浜臣に入門，

浮世風呂・・1809＝28歳：_武蔵国幸手に移住し，ようやく定着した。

高田屋拿捕・ 1812＝31歳：同地の利根川廻船問屋田村清八の娘さんと結婚。

黒住教・・ 1814＝33歳：長男が誕生，自らは2度も死に臨む中，_著述を開始，

伊能測量終・ 1816＝35歳：*まず「神風問答」が成り，

杉田玄白没・ 1817＝36歳：

水野忠成老中1818＝37歳：_「伊勢物語箋」をまとめた。以後次々と著作，

群書類従完結1819＝38歳：_久しぶりに故郷を訪れて“真ノ道”の悟を得る一方，清水浜臣と不和になり，

シボルト鳴滝塾1824＝43歳：_浜臣が死去後，

・・・・・・・・1826＝45歳：_初めて守部と名のると，

シボルト追放・ 1829＝48歳：_20年住んだ幸手から江戸深川に転居し，門人の指導，著作に従事。

富嶽三十六景1831＝50歳：*浅草弁天山へ移って，「山彦冊子」の板行以来，名声とみにあがり，以後，続々名著を出すも，

鼠小僧磔・・ 1832＝51歳：松浦藩主の知遇をえたが，_生活は苦しく，

天保大飢饉始1833＝52歳：病がちにもなり，

高島砲術・・ 1834＝53歳：_娘の縁談すら断るほどで，

滑稽+人情本 1835＝54歳：

・・・・・・・・1836＝55歳：_困窮がとくに甚だしくなったが，門人らの支援を受け，

大塩平八郎乱1837＝56歳：*娘も結婚，長男も道を受け継ぐとともに地位を築き，

_生活が安定するなか，なお著述を続けるうち，

天保改革終・ 1844＝63歳：

阿部正弘首座1845＝64歳：

北斎没・・ 1849＝68歳：_没した。

門人約200名，主に武蔵・上野の豪農・機業家など民間有力者で，とくに桐生・足利の門人らには，生活や出版の援助を受けた。